

事 務 連 絡

平成30年1月5日

各都道府県・指定都市教育委員会学校保健主管課
各 都 道 府 県 私 立 学 校 主 管 課 御 中
附属学校を置く各国公立大学法人事務局

文部科学省生涯学習政策局青少年教育課

「依存症の理解を深めるための普及啓発シンポジウム」の開催について

近年、喫煙、飲酒、薬物、ギャンブル等に関する各種依存症が社会的な問題となっている一方で、依存症に関する正しい知識と理解が進んでいない上、依存症への偏見・差別もあって依存症者や家族に対する適切な治療・支援に結びついていないという課題があります。

このため、文部科学省では、厚生労働省とともに将来的な依存症患者数の逡減や青少年健全育成を推進するため、依存症の理解を深めるための普及啓発シンポジウムを開催いたします。

本シンポジウムを通じて、依存症に関する正しい知識と理解を普及啓発することで、依存症予防教育の推進と依存症者や家族に対する適切な治療・支援につながる一助となることを目指します。

ついては、本シンポジウムへの御参加及び関係各所への情報共有等を御周知くださるよう、お願いします。

なお、御不明な点等ありましたら、下記まで御連絡ください。

記

- 1 名称：依存症の理解を深めるための普及啓発シンポジウム
- 2 日時：平成30年1月28日（日）13：00～16：30（受付12：30～）
- 3 場所：イイノカンファレンスセンター（千代田区内幸町2-1-1）

※詳細については、別添のとおりです。

また、文部科学省ホームページ（注）にも掲載しています。

注：http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/ikusei/1381543.htm

【問合せ先】

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2

文部科学省生涯学習政策局青少年教育課推進係

担当：佐々木、山口

TEL：03-6734-2966

FAX：03-6734-3795

Mail：seisyone@mext.go.jp

知ってほしい **依存症のこと**

依存症の理解を深めるための 普及啓発シンポジウム

2018年
1月28日(日)
13:00~16:00
12:30 開場

主催 厚生労働省
文部科学省

開催場所：イイノカンファレンスセンター
(〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-1-1)

東京メトロ 日比谷線・千代田線 「霞ヶ関」駅 C4出口直結

定員 : 256名(要予約) 参加費 : 無料

申込先 : 03-6222-8128 (FAX受付)
運営事務局 (ギャンブル依存症問題を考える会)



どうつなげる、依存症支援と依存症予防教育

第1部 基調講演

13:05~ **ギャンブル等依存症は回復できる**

小原 圭司氏 (島根県立心と体の相談センター所長)

13:35~ **依存症の予防教育について**

田中 紀子氏 (ギャンブル依存症問題を考える会代表)

第2部 活動紹介と当事者の語り

14:15~ **アルコール依存症支援の立場から**
薬物依存症支援の立場から
ギャンブル依存症家族の立場から
ギャンブル依存症当事者の立場から

小山 茂氏 (NPO法人AA日本ゼネラルサービス理事)

栗坪 千明氏 (栃木DARC代表理事)

佐藤 しのぶ氏 (家族の自助グループ)

大石 幸勇氏 (当事者の自助グループ)

第3部 パネルディスカッション

15:05~ **テーマ：「依存症支援と依存症予防教育のつなぎ方」**

司会： 松本 俊彦氏 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部部長)

パネラー： 小澤 雅人氏 (映画監督)

酒井 智氏 (大阪府立桃谷高等学校准校長)

栗坪 千明氏 (栃木DARC代表理事)

小原 圭司氏 (島根県立心と体の相談センター所長)

田中 紀子氏 (ギャンブル依存症問題を考える会代表理事)

お問い合わせ

☎ 03-3555-1725 (ギャンブル依存症問題を考える会)

パネリストの皆さまをご紹介します

(ファシリテーター)

松本俊彦：

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部 部長／病院 薬物依存症治療センターセンター長
2017年 日本アルコール・アディクション医学会 柳田知司賞受賞。著書「「よくわかるSMARPP——あなたにもできる薬物依存者支援（金剛出版、2016）」他多数。



栗坪千明：

特定非営利活動法人 栃木DARC 代表理事
施設での家族相談、家族教室の開催。リハビリプログラムの開発。黒羽刑務所の覚せい剤教育、団体などに向けた講演、などで活動。
法務省保護局薬物地域支援研究委員。栃木県薬物依存症対策推進委員
榛名女子学園認知行動療法スーパーバイザー



小澤雅人：

映画監督・映像クリエイター。ギャンブル依存症の家族を描いた短編映画「微熱」英題：Slight Fever（2015 / 30min）にて第14回 イマジン・インディア国際映画祭（スペイン）ベスト・ショートフィルム受賞。自身もギャンブル依存症の父を持つ。



小原圭司：

島根県立心と体の相談センター（精神保健福祉センター）所長
東京大学医学部附属病院、虎の門病院、松沢病院、法務省などの勤務を経て平成24年4月より現職。訳書「10代のための人見知りと社交不安のワークブック 星和書店（2013）」



酒井 智：

大阪府立桃谷高等学校 定時制の課程 多部制単位制Ⅲ部 准校長。文部科学省高校生用啓発教材「健康な生活を送るために」改訂版作成委員会委員、同省高等学校における薬物乱用防止啓発DVD作成協力者会議委員。大阪府教育庁保健体育課首席指導主事も歴任。



田中紀子：

（一社）ギャンブル依存症問題を考える会 代表理事。
祖父、父、夫がギャンブル依存症。自身もギャンブルと買い物依存症からの回復者。
2017年度文科省委託事業「依存症予防教育モデル授業」を開催。
著書「三代目ギャン妻の物語（高文研）」「ギャンブル依存症（角川新書）」がある。



一緒に支援策を考えてください。会場でお待ちしております。

お申し込みフォーム 依存症の理解を深めるための普及啓発シンポジウム

受付 1月15日まで

FAX 03-6222-8128（ギャンブル依存症問題を考える会）

◆ご氏名 複数のお申し込みの場合は、他の方々のお名前もお書きください。

◆お立場 複数のお申し込みの場合は、代表者のお立場をお書きください。

☐行政 ☐教育 ☐医療 ☐福祉 ☐当事者・家族 ☐回復施設
☐アディクション関係団体 ☐酒類関係 ☐学生 ☐一般 ☐報道
☐その他（ ）

◆お住い、もしくは、
所属先の都道府県

◆ご連絡先 メールアドレスまたは電話番号 ※定員オーバーの場合のみ、ご連絡いたします。

※本申込書に記載された個人情報、本講座の参加者の把握及び緊急連絡のみを目的として使用し、厳重に取り扱うものとします。

インターネット
でのお申し込み

https://peraichi.com/landing_pages/view/addiction



★ 受付票はお送りしていません。当日、会場にお越しください。

お問い合わせ

☎ 03-3555-1725（ギャンブル依存症問題を考える会）